

N T T 電柱の対応方策について

令和4年4月12日
総務省総合通信基盤局

NTT電柱の調査結果

- 各四半期で減少となっている。
- 新設のうち約4分の1が供給申込みによるものとなっている。

	新設		撤去	合計
	供給申込	支障移転	支障移転等	減
NTT合計	15,927	45,031	67,860	▲6,832
第1四半期	5,090	12,928	20,614	▲2,596
第2四半期	5,137	16,536	24,360	▲2,687
第3四半期	5,700	15,567	22,886	▲1,549

光ファイバーの地中化を図るための下水道管の活用

・対応方策

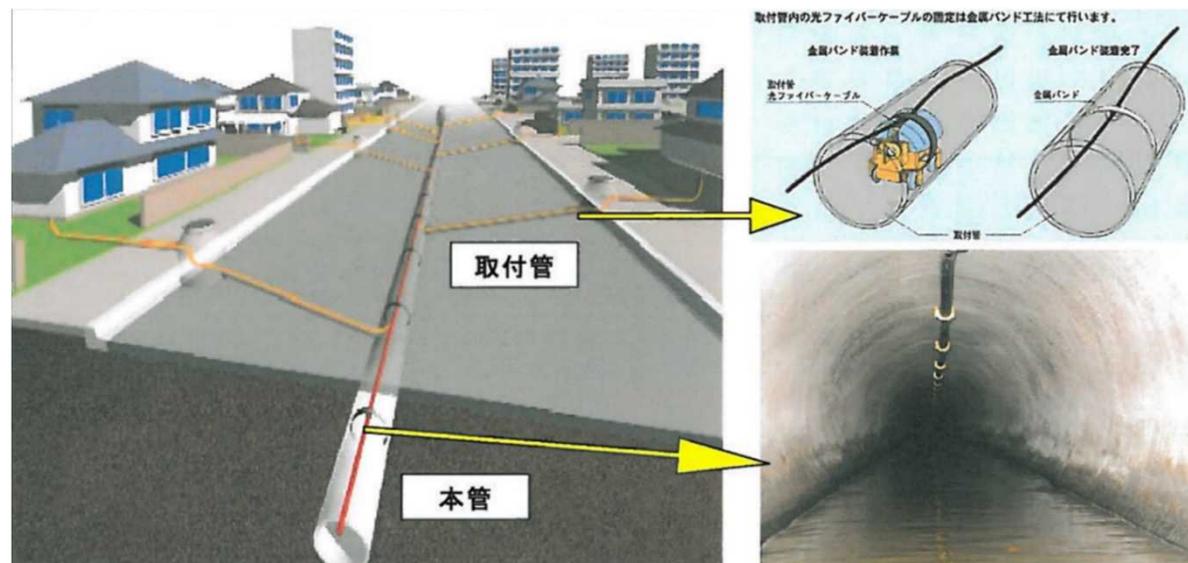
N T Tが下水道管を利用した光ファイバーの敷設を実証することで、技術的な課題や制度的な課題を把握する。

・昨年度の実証結果

下水道管の老朽化による補修工事の計画や光ファイバーの敷設工事によって下水道管の耐久性に支障が生じる可能性がある場合は、申請時の光ファイバー敷設ルートを変更する必要があること等を把握。

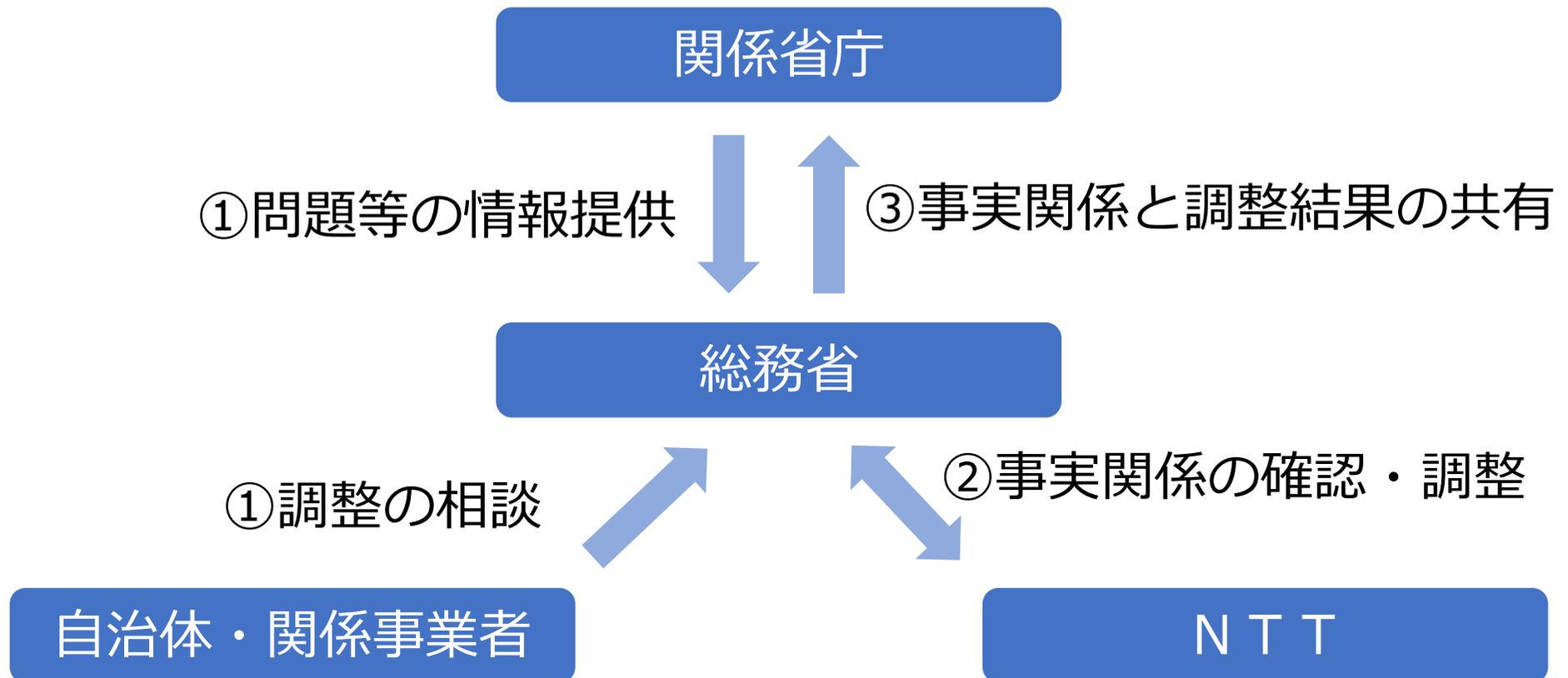
・今年度の実証

現地調査と工事を実証することで技術的な課題や制度的な課題を把握する。



相談受付窓口と情報提供体制

- 自治体や関係事業者がNTTと無電柱化の調整が難航した場合に総務省へ相談する受付窓口を、総務省HP内に設置
- 関係省庁が同様の事例を把握した場合に、総務省へ情報提供し、事実関係の把握と調整を行う体制を整備



電力事業者と共通の対応方策

- ・ 低コスト手法の普及拡大
- ・ 既設電柱の効率的配置による電柱の削減や電力線と通信線の共架 等

低コスト手法（例）

管路の浅層埋設 (実用化済)	小型ボックス活用埋設 (実用化済)
現行より浅い位置に埋設	小型化したボックス内にケーブルを埋設
	
浅層埋設の事例	小型ボックスの事例

効率的な配置

